

人間と情報技術の 調和がもたらす ウェルビーイング

2026年 **11月7日** 土 13:00-15:40

場所

大手前大学 西宮夙川キャンパス K棟201 教室

兵庫県西宮市御茶家所町6-42 ※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

対象

産業界、教育関係者(高等学校・教育委員会等)、一般の方

定員

150名

事前申込制
先着順

参加

無料

情報技術をウェルビーイングに結びつけるには、人間の感性を理解し技術に織り込む視点が不可欠です。
2027年4月開設の大手前大学人間情報学部は、人と技術が調和した社会を創る人材育成を目指します。
本シンポジウムでは新学部の理念を発信し、「感性とテクノロジーのインタラクション」の可能性を登壇者と共に考えます。

開会挨拶

大手前大学 学長
平野 光俊



基調講演 | 13:15~

触れてつながるテクノロジーとウェルビーイング

NTT株式会社 社会情報研究所 上席特別研究員 渡邊 淳司氏

触覚は、言葉を超えて相手の存在や気持ちを感じる感覚です。本講演では、触れる感覚を伝えるテクノロジーの研究や実践を紹介しながら、身体を通じたつながりが人や社会のウェルビーイングにどのような可能性をもたらすのかを考えます。

経歴 2005年、東京大学大学院 情報理工学系研究科 博士課程修了。博士(情報理工学)。専門はウェルビーイングを創成する身体性に基づくコミュニケーション技術・方法論。2015年『情報を生み出す触覚の知性』にて毎日出版文化賞(自然科学部門)受賞。共同監訳『ウェルビーイングの設計論』(2017年)、共著『ウェルビーイングのつくりかた』(2023年)、共著『ウェルビーイング・コンピテンシー』(2025年)など多数。

ゲスト講演① | 13:45~

ゲスト講演② | 14:05~



関係形成型フィジカルAIが つくるウェルビーイング

— LOVOTと人の関係がもたらすもの

GROOVE X 株式会社 社長室 室長代理 廣田 武徳氏

経歴 セイコーエプソン、ジャパンディスプレイ等でディスプレイの研究開発に従事し、2015年日本液晶学会技術開発賞受賞。同社で技術戦略・経営企画を経て、CEO直下の新規事業責任者としてセンサー・ウェアラブルとアプリ・クラウドを融合したデジタルヘルス事業を構想から事業化まで牽引。2026年よりGROOVE Xで事業開発を担う。



誰のためのテクノロジーか？

— あたたかい技術開発と社会実装



株式会社デジリハ 代表取締役 岡 勇樹氏

経歴 1981年に東京で生まれ、幼少期の8年間に米国サンフランシスコで過ごし帰国。医療福祉関連の現場職員を経てNPO法人を設立しその後15年間経営。現在はデジタルリハビリツールの開発と医療福祉施設への提供を行うスタートアップを日本とアメリカで経営。

パネルディスカッション | 14:35~

感性、テクノロジー、 そしてウェルビーイング

【モデレーター】
現代社会学部教授・
人間情報学部
学部長就任予定
西村 治彦



【パネリスト】

渡邊 淳司氏
廣田 武徳氏
岡 勇樹氏

現代社会学部准教授・
人間情報学部
准教授就任予定
竹澤 智美



お申し込みはこちらから



申し込み締め切り
2026年11月2日(月)

【お問い合わせ先】

大手前大学人間情報学部 開設記念シンポジウム事務局
メール: jsetti@otemae.ac.jp 電話: 0798-31-6367